

佐野市議選

新人9、現職17人当選

「政治塾」4議席獲得

任期満了に伴う佐野市議選(定数26)は14日、投票が行われ、即日開票の結果、新人9人を含む26人が当選した。投票率は56・57%。

◇佐野市議選(定数26)

選管確定		=14日午後11時35分	
当	2,709	横田 誠	36 無新①
当	2,378	本郷 淳一	60 公現③
当	2,291	亀山 春夫	68 無新①
当	2,118	斎藤 弘	65 無新①
当	2,114	若田部 治彦	51 公現③
当	2,084	大川 圭吾	59 公現③
当	2,032	木村 久雄	56 公新①
当	2,030	高橋 功	62 無現③
当	1,997	菅原 達	52 公新①
当	1,991	青木 伸	66 無新①
当	1,985	蓼沼 一弘	51 無現③
当	1,950	鈴木 靖宏	52 無現②
当	1,915	篠原 一世	68 無現③
当	1,878	飯田 昌弘	66 無現③
当	1,877	金子 保利	64 自現③
当	1,858	春山 敏明	60 無現③
当	1,848	田所 良夫	70 自新①
当	1,830	山菅 直己	59 無現③
当	1,733	岡村 恵子	59 共現③
当	1,732	井川 克彦	56 無現②
当	1,615	川嶋 嘉一	60 無新①
当	1,520	山口 孝	66 無現③
当	1,501	藤倉 義雄	74 無現③
当	1,462	鶴見 義明	60 共現③
当	1,453	久保 貴洋	46 無新①
当	1,363	小暮 博志	66 無現②
当	1,249	寺内富士夫	66 無現③
当	1,200	寺内 利充	55 無新③
当	1,136	川俣 秀子	52 無新③
当	1,059	神山 久夫	64 無新③
当	1,012	岡野 睦子	48 共新③
当	535	若田部 健	53 無新③

(敬称略、○数字は当選回数)

真岡市長選 井田氏無投票再選

任期満了に伴う真岡市長選は14日告示され、無所属で現職の井田隆一氏(67)のほかに立候補の届け出はなく、井田氏が無投票で再選を決めた。同市長選が無投票になるのは1985年

以来、28年ぶり。同日午後5時すぎ、立候補の届け出が締め切られ、選が決まると、同市荒町4丁目の選挙事務所は支持者から拍手がわき起こった。井田氏は「市民と対話を重

裏面に足利市長選告示

ね、国や県と一緒に安心して暮らせるまちづくりを進めたい」と、2期目の抱負を語った。井田氏は前市長の後継として、旧二宮町との合併直後の2009年に初当選。総合運動公園整備や東日本大震災で被災した市民会館の大幅改修などを進めた。

ともに告示された市長選が無投票だったこともあり、前回(2009年)の63・14%を6・57%下回った。

当選者を地区別にみると、佐野地区16人、田沼地区6人、葛生地区4人。党派別では無所属18人、公明4人、共産2人、自民2人だった。定数の一層の削減を訴えた「さの政治塾」関係者は、立候補した5人のうち新人2人を含む4人が当選した。定数を4減した前回よりさらに2削減して行われた今回の市議選は、現職18人、新人14人の計32人が立候補し、激戦を繰り広げた。



無投票で再選が決まり、支持者に祝福される井田隆一氏(中央) 14日午後5時25分、真岡市荒町4丁目、山口達也撮影

第27回栃木県アマチュアゴルフ選手権大会

2013 TOCHIGI AMATEUR GOLF CHAMPIONSHIP



■出場資格 栃木県在住、在勤、在学、栃木県ゴルフ協会の所属するクラブの会員（決勝大会出場者は、JGA HDCPを取得していること）

■競技規則 日本ゴルフ協会競技規則および大会特別規則による

■参加料 予選…5,000円、準決勝…8,000円、決勝…無料（各々プレーフィー、食事代等は自己負担）

■競技方法 予選：準決勝・18ホールストロークプレー 決勝：18ホールストロークプレー

各予選の上位50位タイまで、成績が20オーバーパーまでの者が準決勝進出。準決勝は2ブロック合わせて上位120位タイまでの者が決勝進出。ただし、準決勝進出者数に合わせ各ブロックの決勝進出者数を配分する。決勝は1位に同位者が出た場合、サドンデス方式によるプレーオフを行い優勝者を決定する。

選手権	ブロック	開催日	会場	申込締め切り		
予選	Aブロック	①5月24日 金	ジャンクショップカントリークラブ	5月10日(金)		
	Bブロック	②5月28日 火	都賀カントリー倶楽部			
準決勝	Aブロック	①5月16日 木	高の森カントリー倶楽部	5月 2日(木)		
	Bブロック	②5月20日 月	宇都宮カントリークラブ			
決勝	Aブロック	6月18日 火	東松原ゴルフ倶楽部	各予選会場の予選通過後即日		
	Bブロック	6月 3日 月	塩原カントリー倶楽部			
決勝				7月16日 火	日光カントリー倶楽部	自動エントリー

■特典 ・優勝者は、次年度大会決勝大会出場資格を得る。
・優勝者は、次年度開催の栃木県ゴルフ競技大会決勝の出場資格を得る。
・上位3名までの選手は（生徒を除く）団体出場選手権大会の出場資格を得る。
・上位2位～10位までのものはマチュアゴルフ選手権競技大会出場資格を得る。

■賞 ※準決勝進出者及び決勝進出者に参加賞を贈る。
※優勝者は、優勝杯、副賞を贈る。※2位から5位までの者には、記念杯及び副賞を贈る。※6位から10位までの者には、副賞を贈る。

■申込み方法 県アマ、シニアとも、各ゴルフ練習場、開催ゴルフ場に配布してある申込書に必要事項を記入の上、申し込む。

■お問合せ 下野新聞社 事業出版部 TEL.028-625-1134/FAX 028-625-1392

第10回栃木県シニアゴルフ選手権大会

(兼 ねんりんピックよさこい高知2013県予選会、日本スポーツマスターズ2013県予選会)

出場資格
1958年12月31日以前に誕生の方

◇予選		A予選 5月29日(水) 那須小川ゴルフクラブ B予選 6月 6日(木) 宇都宮カントリークラブ ※A、B両予選とも申込締め切り5月10日(金)
◇決勝		6月27日(木) アローエースゴルフクラブ ※自動エントリー
◇出場資格		栃木県在住・在勤または栃木県ゴルフ協会の所属するクラブの会員で、1958年12月31日以前に誕生したアマチュアに限る
◇参加料		予選参加料5,000円(税込)/プレー費等は各自負担、決勝参加料3,000円(税込)/プレー費等は各自負担
◇競技規則		日本ゴルフ協会競技規則および大会特別規則による
◇競技方法		予選・18ホールストロークプレー、両予選会より計163名が決勝大会への選手権を得る(決勝大会進出者数は、各予選会場のエントリー数から配分する)。
◇賞		予選の重複エントリー可、競技は両会場とも兼用カートを使用する。 決勝・18ホールストロークプレー、1位に同位者があった場合は、サドンデス方式によるプレーオフにより優勝者を決定する。競技は兼用カートを使用する。 決勝進出者には参加賞、優勝者には、記念トロフィー、賞品を贈呈。2位～10位までの者に、記念トロフィー、賞品を贈呈。第10位の者に「第10回大会記念賞」を贈呈。決勝大会進出者に参加賞を贈呈。各予選トップ通過者にトップ賞を贈呈。 ※優勝者は次年度大会決勝の出場資格を得る。 ※1953年12月31日以前に誕生した者で上位1名は、次年度の栃木県知事杯ゴルフ選手権大会シニアの部決勝大会の出場資格を得る。 ※上位者(県内に在住に限る)から、今年10月に高知県で開催される「第26回全国健康福祉大会」(ねんりんピックよさこい高知2013)に派遣する栃木県選手を2名選考する。(ただし、1名は60歳以上、昭和29年・西暦1954年4月1日以前に生まれた人とし、もう1名は70歳以上、昭和19年・西暦1944年4月1日以前に生まれた人とする)。 ※上位者(県内に在住に限る)から、今年9月に北九州市で開催される「日本スポーツマスターズ2013」に派遣する選手を3名選考する。

主催/下野新聞社・栃木県ゴルフ連盟 後援/栃木県ゴルフ連盟(県アマゴルフ大会) 栃木県ゴルフ協会の会 栃木県ゴルフ場支配人会(福)とちぎ健康福祉協会(県シニアゴルフ大会)

前を向いて、また動き始めた日本。
広告にも、できることがある。

新しい日本が、よりよい日本になっていくために、
この国に暮らす一人ひとりに、できることがあります。そして広告にも、できることがあります。
これからの私たちに、大切なことは何か。
みんなが考え行動するきっかけを、ACは発信していきます。



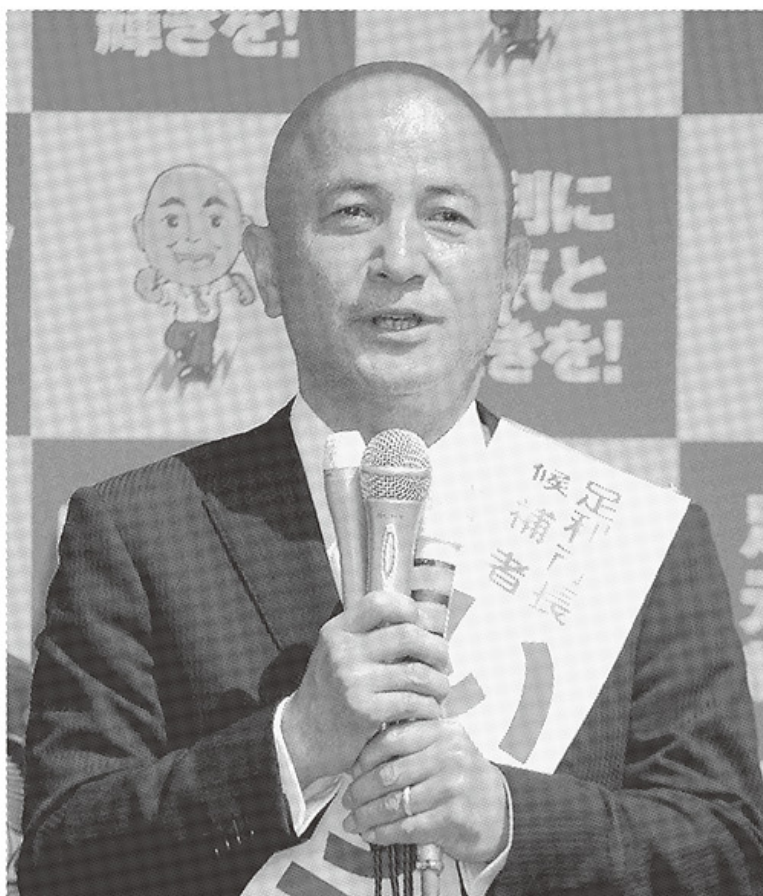
民間の広告ネットワーク
AC JAPAN

足利現新一騎打ち

市長選告示

産業振興、改革継続訴え

舌戦スタート、21日投票



さとし 聡 候補(49) 無新

いずみ 和泉

前朝日新聞社宇都宮総局長。足利市出身、ハーバード大ケネディ行政大学院修了。同市助戸仲町。



おおまみ う だ みのる
大豆生田 実 候補(47) 無現

サントリー社員、市議2期、県議1期などを経て2009年市長選で初当選。東京薬科大卒。足利市通4丁目。

任期満了に伴う足利市長選は14日、告示された。いずれも無所属で新人の元朝日新聞記者和泉聡氏(49)と、自民推薦と、再選を目指す現職の大豆生田実氏(47)の2人が立候補を届け出た。和泉氏は「産業の振興」、大豆生田氏は「改革の継続」などを訴え、一騎打ちの選挙戦に突入した。投票は21日に行われ、即日開票される。

久保田 武氏



小川 公威氏



柳田 尚宏氏



真岡市議補選3人届け出

真岡市議補選(欠員2)は14日告示され、いずれも無所属新人の久保田武氏(42)、小川公威氏(40)、柳田尚宏氏(48)の3人が立候補を届け出た。投票は21日に行われる。(上から届け出順)

人、市議9人、岡部正英(野市長ら)が出席した。和泉氏は「今の足利に明るい光が見えない」として、産業、教育、観光の充実を強調。「市民の話を聞き、国や県と相談できるリーダーでなければ足利は生き残れない」と訴えた。街頭演説には同党の小池百合子同党広報本部長が応援に駆け付けた。

大豆生田氏は、午前9時半から同市今福町の選挙事務所で出陣式に臨んだ。みんなの党の鶴見大祐(市議9人)らも出席した。

大豆生田氏は「改革を進めるのか、止めるのかの選挙だ」と訴えた。その上で「行政改革を深掘りし、原資を確保して文化、教育を振興し、医療、福祉を充実させる。2期目も大豆生田で良かったと思える成果を挙げる」と第一声を放った。

太田市長に清水氏3選

任期満了に伴う群馬県太田市市長選は14日、市内71カ所で投票が行われ、即日開票の結果、無所属で現職の清水聖義氏(71)が4万7595票を獲得して3選を果たした。旧太田市を含め連続6回目の当選。

新太田市の市長選から3度目の挑戦となった元県議の秋山一男氏(66)と、元飲食店員の茂木緑氏(31)の無所属2新人は及ばなかった。

実績を強調し「市政の継続」を呼び掛けた清水氏が「多選の弊害」を訴えた秋山氏をかわした。投票率は48・58%(男46・94%、女50・23%)で前回を12・33%下回った。



【清水聖義氏の略歴】市長2期、県市長会長、太田国際貨物ターミナル会長。旧市長3期、県議3期、旧市議1期。慶応大卒。

▽太田市市長選開票結果
当 47595 清水 聖義 無現
31920 秋山 一男 無新
1431 茂木 緑 無新
(選管確定)

(右から届け出順)